

第 4 7 6 回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	11番	新風未来の会 大内卓也	1. 仙台南部工業団地について 2. 東北楽天ゴールデンイーグルス2軍拠点の誘致について 3. (仮称)地球共創大学院大学の設置進捗などについて	市長
2	10番	新風未来の会 佐久間順子	1. 白石城観光資源の収益化について 2. 障害福祉サービスにおける虐待防止策について	市長
3	9番	新風未来の会 佐久間儀郎	1. 災害時におけるペット同行避難体制について	市長
4	15番	新風未来の会 四竈英夫	1. 本市の不登校の現状と対策について	教育長
5	3番	日本共産党 佐藤龍彦	1. ナフサ不足による本市事業者への影響について 2. エアコン購入・設置費用の助成について 3. 本市の教育及び教育環境について	市長 教育長
6	8番	公明党 大森貴之	1. 異常気象に対する市の対応について	市長
7	5番	自民市民の会 伊藤勝美	1. 本市の職員について 2. 生成AIの活用推進について 3. 中東情勢に伴う公共工事への影響について	市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 仙台南部工業団地について

【質問項目】

- (1) 問い合わせ件数と検討に至った企業の数について
- (2) 「オーダーメイド方式」の有効性と課題について
- (3) 決め手に欠くものはなにかを問う。
- (4) 今後の具体的な誘致活動について

【質問要旨】

本市が導入している「エントリー&オーダーメイド」方式は、企業のニーズを整備計画に反映させるという画期的な手法だが、進出企業が決まらない現状について、以下の観点から質問をする。

- (1) 問い合わせ件数と検討に至った企業の数について
- (2) 「オーダーメイド方式」の有効性と課題について
「オーダーメイド方式」は、自由度が高い反面、企業にとっては進出時期の不透明感に繋がっていないか。
- (3) 決め手に欠くものはなにかを問う。
様々な企業と接触した中で企業側が検討する際に興味を示した点や、疑問を抱いた点があったかと思うが、想定される懸念材料はあったか。
- (4) 今後の具体的な誘致活動について
現在のエントリーゼロという結果を受け、今後、特定の業種をターゲットにしたトップセールスや、展示会への出展など、これまでの延長線上ではない「攻めの誘致活動」をどのように展開していく予定か。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 東北楽天ゴールデンイーグルス2軍拠点の誘致について

【質問項目】

- (1) 誘致活動の進捗状況と球団との交渉について
- (2) 競合自治体の動きに対する本市の戦略について
- (3) 市民からの要望について
- (4) 拠点整備に伴う周辺開発と財政面の見通し
- (5) 提案：候補地について

【質問要旨】

- (1) 前回、市長は誘致の可能性に言及されたが、その後、楽天野球団に対して本市の意向を伝えるなどの具体的なアクションはとられたのか。また、球団側から示されている「1軍本拠地から車で1時間圏内」という条件に対し、本市としてどのような「白石市の優位性」を整理・提示しているのか、現在の進捗を伺う。
- (2) 現在、他の自治体での動きが見られるが、先行事例と比較した際、本市が打ち出すべき独自のアピール策や、他市に劣らないスピード感を持った対応について、市長の見解を伺う。
- (3) 他の自治体では誘致に向けたPRを行っている。本市においても、単なる行政の動きに留めず、地元の経済団体やスポーツ団体、そして市民を巻き込んだ組織を立ち上げ、全市を挙げた機運醸成を図るべきだと考えるが、現在まで市民や団体から要望等があったか。
- (4) 球団は球場だけでなく、トレーニングルームや選手寮を備える新拠点を構想している。もし本市への誘致が実現する場合、これらの施設整備に対する公的支援のあり方や、民間の活力を導入する手法について、現時点でどのような想定をされているか伺う。また、2軍拠点という特性を活かし、交流人口の拡大を地域経済の活性化にどう結びつけていくのか、より具体的なビジョンを伺う。
- (5) 先ほど質問させていただいた仙台南部工業団地の区画を候補地として提示してみてもどうか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8年 6月 1日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 3. (仮称)地球共創大学院大学の設置進捗などについて

【質問項目】

- (1)改修工事の着工予定時期
- (2)官民連携による財政支援と「企業版ふるさと納税」について
 - ①寄附の集まり具合と、目標額に対する達成見込みを伺う。
 - ②市が支援を想定する公的負担額の概算と財源内訳を伺う。
- (3)地域経済への波及効果と定住促進について
 - ①大学設置による移住・定住、産業振興への戦略を問う。
 - ②関係者の市内居住を促進支援策を検討しているかを伺う。

【質問要旨】

令和8年（2026年）4月1日に旧白川中学校の建物が準備法人へ引き渡されたが、現時点で工事未着手との声もある。2028年4月の開学に向けた進捗を問う。

- (1) 現在の改修工事の着工予定時期と、工期が2028年4月の開学予定に与える影響について、市の認識を伺う。
- (2) ①大学の教育環境や学生の通学環境整備に活用するため、企業版ふるさと納税を募集しているが、現在の寄附の集まり具合と、目標額に対する達成見込みを伺う。
②市が支援を想定している「建物の安全確保のための改修工事」等の公的負担額について、現時点での概算と財源内訳を伺う。
- (3) ①大学設置による移住・定住、産業振興への期待が示されているが、その具体的な戦略を問う。
②修士課程の定員は40名（収容定員80名）とされているが、これら学生や教職員の市内居住を促進するための具体的な支援策（住居確保や生活支援など）を検討しているか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 白石城観光資源の収益化について

【質問項目】

- (1) 白石城プロジェクションマッピングの収益化について
- (2) 今後のイベント企画について
- (3) 白石城を活用した観光コンテンツの創出について
- (4) 白石城観光資源の高付加価値化について

【質問要旨】

- (1) 白石城プロジェクションマッピングの収益化について
プロジェクションマッピングを、訪れた市民や観光客が上映を楽しむだけでなく、指定管理者である白石市文化体育振興財団が収益を得るためのツールとして活用するべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- (2) 今後のイベント企画について
追加で検討しているイベントや、他の企画はあるのか伺う。
- (3) 白石城を活用した観光コンテンツの創出について
白石城のマッピング機材を生かし、「市民向け記念日・プロポーズプラン」や「インバウンド・富裕層向けのキャッスルウェディングプラン」を民間企業と連携し、パッケージ化（商品化）することを提案する。民間事業者を巻き込んだ新たな観光メニューの開発に着手する考えはあるのか、本市の見解を伺う。
- (4) 白石城観光資源の高付加価値化について
「プロジェクションマッピング設備」というデジタルインフラをオプションとして、ふるさと納税の返礼品としてパッケージ化すれば、他のお城には真似できない、本市だけの圧倒的な収益を生み出すメニューになるのではないかと考える。市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 1 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	10 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 障害福祉サービスにおける虐待防止策について

【質問項目】

- (1) 他市町施設利用時の対応について
- (2) 相談しやすい環境整備について
- (3) 市の認識について
- (4) 発生防止・予防策について

【質問要旨】

- (1) 他市町施設利用時の対応について
本市市民が、他市町の障害福祉サービス事業所を利用している場合において、虐待が疑われる相談が寄せられた際、市としてはどのような対策を行うのか伺う。
- (2) 相談しやすい環境整備について
障害の特性上、自ら被害を訴えることが難しい利用者もいると考えるが、市として虐待の早期発見のため、どのような相談体制を整備しているのか伺う。
- (3) 市の認識について
障害福祉サービスにおける虐待を防ぐためには、何が重要であると認識しているのか伺う。
- (4) 発生防止・予防策について
市として、障害者虐待防止法の周知や事業所への啓発について、今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 4 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 災害時におけるペット同行避難体制について

【質問項目】

- (1)本市指定避難所における同行避難の受入方針を伺う。
- (2)受入場所、飼養ルール、動線分離等の具体運営計画を伺う。
- (3)ケージ、消毒資材、ペット用備蓄等の現状を伺う。
- (4)獣医師会等との連携協定や災害時支援体制を伺う。
- (5)避難所運営訓練にペット同行避難を組み込む考えを伺う。

【質問要旨】

近年、全国各地で大規模災害が頻発しており、本市においても地震、水害、土砂災害、さらには冬季災害への備えが重要となっております。その中で、近年大きな課題となっているのが、犬猫等のペットを飼育する世帯の避難行動であります。

環境省は、災害時における「同行避難」を基本方針としておりますが、現実には、避難所での受け入れに対する住民不安や避難所ごとの対応差、スペース不足、アレルギー問題など、多くの課題が存在しております。特に、ペットを理由として避難をためらう事例は全国的にも指摘されており、これは結果として避難遅れによる人命リスクにも直結する問題であります。また、本市のように戸建住宅や車移動が多い地域では、車中避難や自宅残留避難が増加しやすく、災害時の健康被害や孤立リスクも懸念されます。

そこで伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 5 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	15 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 本市の不登校の現状と対策について

【質問項目】

- (1)本市における不登校児童・生徒の推移を伺う。
- (2)小学校低学年（1～3年）、高学年（4～6年）、中学生の不登校の状況を伺う。
- (3)不登校となる主な要因をどのように分析しているか伺う。
- (4)不登校の兆候をどのように把握しているか伺う。
- (5)欠席が続く児童・生徒への対応はどうしているか伺う。
- (6)そうした児童・生徒の学習の遅れについての対応を伺う。
- (7)支援対策の取り組みを伺う。
- (8)スクールカウンセラー配置による成果を伺う。
- (9)スクールソーシャルワーカー配置による成果を伺う。
- (10)保護者を支援するなどの検討をされているのか伺う。

【質問要旨】

近年不登校の児童・生徒が増えているとの報道があります。12年連続で増えているという深刻な状況とのことです。この10年間で青森県は3.1倍、岩手3.6倍、秋田4.1倍、山形3.4倍、宮城3.3倍、福島3.0倍に増えたとのことです。病気や経済的などの理由以外で年間30日以上欠席した場合不登校とされており、低年齢化が進んでいるとのことです。そして、先生がそれらに対応できないという現状だとのことが言われています。不登校は成長過程の子どもたちにとって深刻な問題です。本人や家庭だけの問題ではなく、社会全体で支えるべき課題だと思います。すべての子どもたちが安心して学び成長できる環境づくりに向けて、行政としてさらなる取り組みが求められると思います。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 1. ナフサ不足による本市事業者への影響について

【質問項目】

- (1) 昨今のナフサ不足についての認識を伺う。
- (2) ナフサ不足の本市事業者への影響についての認識を伺う。
- (3) ナフサ不足の影響についての実態調査について
- (4) 事業者への相談窓口について
- (5) 事業者への支援について
- (6) 事業者への今後の対応について

【質問要旨】

現在、緊迫化している中東情勢の中、「ナフサ不足」という深刻な危機に直面しています。プラスチックや合成ゴム、包装材、さらには農業用のビニールや建築資材に至るまで、あらゆる産業に影響が及んで、原材料の価格の高騰は、私たちの生活にも大きな負担となっています。そこで「ナフサ不足」による、本市の事業者の現状及び影響について、以下の点について伺います。

- (1) 昨今のナフサ不足についての本市の認識を伺う。
- (2) ナフサ不足の本市事業者への影響についての認識を伺う。
- (3) 本市は事業者に対し、ナフサ不足の影響について実態調査をしているのか伺う。
- (4) ナフサ不足で影響を受けた事業者の相談窓口について伺う。
- (5) ナフサ不足で影響を受けている事業者に対し、本市独自で支援をしていくことを考えていないのか伺う。
- (6) 本市はナフサ不足の影響を受けた事業者に、今後どのように対応（支援）していく考えなのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 2. エアコン購入・設置費用の助成について

【質問項目】

- (1) 熱中症で緊急搬送された患者数について
- (2) エアコン購入・設置費用の助成についての認識を伺う。
- (3) エアコン購入・設置費用の助成について

【質問要旨】

長引く物価高騰により、市民の皆さんの生活は苦しくなっています。特に所得の低い世帯や年金生活の高齢者世帯には、非常に重い負担となっており、このような中、全国的にもエアコンの購入・設置費用の助成が実施されています。そこで、以下の点について伺います。

- (1) 本市で過去3年間に熱中症で病院に緊急搬送された患者数を伺う。（把握されているのであれば、そのうち65歳以上の患者数）
- (2) 近隣自治体において、エアコンの購入・設置費用の助成がされていることについて、本市の認識を伺う。
- (3) 本市は、住民税非課税世帯などにエアコンの購入・設置費用の助成をする考えはないか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8年 6月 6日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	3 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 3. 本市の教育及び教育環境について

【質問項目】

- (1)現在、本市は教員の定数を満たしているかを伺う。
- (2)昨年度と今年度の学校支援員の配置状況について
- (3)来年度以降の学校支援員の見通しについて
- (4)昨年度の本市教員の残業時間について
- (5)残業時間が年間360時間を超えている教員について
- (6)本市の教員の長期病休者数を伺う。
- (7)本市の教員の長期病休者数の推移について
- (8)現在の教職員の労働環境で課題となっていることについて
- (9)教職員の労働環境の改善について

【質問要旨】

本市の教育及び教育環境については、第464回定例会などでも同様の質問をしておりますが、前回の質問以降、本市教職員に対し、どのような労働環境の改善がされたのか、以下の点について伺います。

- (1) 現在、本市は教員の定数を満たしているのか伺う。
- (2) 昨年度と今年度の学校支援員の配置状況について伺う。
- (3) 来年度以降の学校支援員の配置見通しについて伺う。(今年度と比較して増減等)
- (4) 昨年度の本市教員の残業時間について伺う。(月平均、小学校・中学校別)
- (5) 昨年度の残業時間が、年間360時間を超えている教員の人数を伺う。
- (6) 本市の教員の長期の病休者数を伺う。(1ヶ月以上)
- (7) 本市の教員の長期の病休者数の推移について伺う。(1ヶ月以上で過去3年分)
- (8) 現在の教職員の労働環境で課題となっていることについて伺う。
- (9) 今後、教職員の労働環境の改善にどのように取り組んでいく考えなのか伺う。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	8 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 異常気象に対する市の対応について

【質問項目】

- (1) 市内を流れる 1 級河川、2 級河川を伺う。
- (2) 準用河川、普通河川を伺う。
- (3) 避難情報を市民に知らせる方法、手順を伺う。
- (4) 避難所開設の準備開始時期はいつからかを伺う。
- (5) 避難所開設はどのタイミングで実施されるのかを伺う。
- (6) 市管理河川の浚渫作業、護岸工事の現状を伺う。
- (7) 内水氾濫対策について
 - ① 市道に付帯する側溝の清掃を市が行う考えはあるか。
 - ② 普通河川の堤防の嵩上げについて
- (8) 新防災気象情報の市としての運用を伺う。

【質問要旨】

1. 異常気象に対する市の対応について

気象庁は近年の気象変動に伴い、本年 5 月 29 日から河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮などの警報情報をより具体的に変更し、新たな「防災気象情報」の運用を開始しました。これまで警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくかったものが、今回の改善により、避難情報の 5 段階の警戒レベルに対応し避難の判断をしやすくなっています。

- (1) 大雨洪水警報に関連する情報として、市内を流れる河川のうち、国、県管理の 1 級、2 級河川はどれなのかお伺いする。
- (2) 市が管理する準用河川、普通河川はどれなのかお伺いする。
- (3) 気象庁の新情報を基に、それらの情報をどのように市民に通達するのかお伺いする。
- (4)、(5) 避難所の開設はその準備も含めどのタイミングで実施されるのかお伺いする。
- (6) 準用河川及び普通河川におけるこれまで及び今後の市の浚渫作業、護岸工事などの具体的な対応をお伺いする。
- (7) ①人口減少、高齢化が進み自治会での対応は年々厳しさを増しており、市が行うべきと考える。
②普通河川からの越流をなくす観点からも堤防の嵩上げを実施すべきと考える。
- (8) 新たな防災気象情報を受け、今後市としてどのように防災減災に生かしていかれるのかお伺いする。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 本市の職員について

【質問項目】

- (1) 現状の人材確保に関する市の課題認識について
- (2) 若年層の採用が難しくなっている背景について
- (3) 採用活動の工夫とPR戦略について
- (4) 今後の待遇・労働環境の改善について
- (5) 人材育成やキャリア支援について
- (6) 現時点での本市の取組状況、今後の方向性について

【質問要旨】

- (1) 本市における直近数年間の採用試験の受験者数、倍率は、減少傾向となっているが、採用の充足状況及び現状の人材確保に関する課題認識を伺う。
- (2) 若者の公務員離れが進んでいると言われていたが、若年層の採用が難しくなっている背景について、どのように分析しているのか見解を伺う。
- (3) 他自治体や民間企業との人材獲得競争の中で、人材確保の手法に多様性が求められており、将来の市職員候補となる若者に仕事を見せる・知ってもらうためにインターンシップ、職場見学・仕事体験会などの機会を設けるべきと考えるが、採用活動の工夫とPR戦略についての見解を伺う。
- (4) 国家公務員の週休3日制やフレックスタイム制度の試行が進んでいる。労働人口の減少が進む中で、「働き方の柔軟性」は人材確保や職員定着における重要な鍵であると考えているが、今後の待遇・労働環境の改善についての見解を伺う。
- (5) 資格取得を奨励・支援する制度を設け、職員の成長を積極的に後押ししている自治体もあるが、人材育成やキャリア支援についての見解を伺う。
- (6) 現代の行政課題は複雑化・多様化しており、従来の行政的な枠組みにとらわれない発想力や、実践的なマネジメントスキルが求められている。本市においても民間企業等との人事交流を戦略的に導入していくべきと考えるが、現時点での本市の取組状況、今後の方向性についての見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8 年 6 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

【質問事項】 2. 生成A I の活用推進について

【質問項目】

- (1)生成A I 活用の現状について
- (2)生成A I を用いた業務効率化について
- (3)生成A I を活用した本市のビジョンや目標像について
- (4)職員向け研修や啓発活動等について
- (5)体制の整備や活用ルール・ガイドライン等の方針について

【質問要旨】

近年、ChatGPTをはじめとする生成A I 技術は急速に普及し、その性能や活用範囲は年々高度化している。民間においては、文章や画像の自動生成、データ分析、顧客対応の効率化など、幅広い分野で導入が進み、生産性の向上やサービスの質的改善に大きく寄与している。このような状況は、自治体業務にも及びつつあり、職員の事務負担軽減や限られた人員の中で質の高い行政サービスを提供するための有力な手段として注目されている。特に、文書作成や議事録の要約、市民からの問い合わせ対応、データ整理など、多岐にわたる業務への適用が期待される。そこで、本市としての生成A I 活用の現状、課題、今後の方針について伺う。

- (1) 生成A I 活用の現状について、現時点で具体的にどのような業務や分野で導入・試行が行われているのか伺う。
- (2) 現状の活用を踏まえ、生成A I を用いた業務効率化について、今後、特に有効と考える業務分野や優先度の高い分野はどのように想定されるのか見解を伺う。
- (3) 中長期的な視点で、生成A I を活用した自治体運営に関する本市のビジョンや目標像についての見解を伺う。
- (4) 適切かつ安全な生成A I の活用を推進するため、職員向け研修や啓発活動等について所見を伺う。
- (5) 今後、全庁的な生成A I 導入に向けた体制の整備や、活用ルール・ガイドライン等の方針について見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 8年 6月 8日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	5 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

【質問事項】 3. 中東情勢に伴う公共工事への影響について

【質問項目】

- (1) 資材不足による工期の遅れ等生じている事例について
- (2) 年度内完成が困難となった場合について

【質問要旨】

中東情勢の長期化に伴い、原油価格が高騰し、あらゆる石油化学基礎製品の供給環境が悪化の一途をたどっている。一部の事業者からは、事業継続に不可欠な物品入手の目途が立たないとの切実な声が届いている。

- (1) 現在、市が発注している事業において、資材不足による工期の遅れ等、生じている事例はあるのか伺う。
- (2) 今後、資材不足により工事の年度内完成が困難となった場合、市として工期延長や繰越明許等の対応を柔軟に行う考えはあるのか、また国や県の補助金に関わる場合、国や県とどのような協議をおこなうのか伺う。

【答弁を求める者】 市長